

## 平成30年度学部交渉 要求項目文書回答

### 6. 学務システムについて

学務システムの利便性を向上させること。

#### 回答

学務システム UTAS は、全学システムであることから、改修可能な機能や、その予算に制限があります。そのため、全学の視点で、教務上必要性の高い順に、予算内で順次機能等の改善が進められております。

また、UTAS 以外の ITC-LMS 等の各システムについては、それぞれ独立して開発された経緯があり、現時点では統合する予定はありません。一方で、学生の利用にあたって煩雑な面があることもご指摘のとおりであるため、今後、よりわかり易い手引きの作成や周知を進める予定です。

## 7. 既修外国語について

ALESS/ALESA、FLOW、英語一列及び英語中級を履修する学年、セメスター及びタームを学生が選択できるようにすること。

### 回答

既修外国語の英語は、各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、1S1・1S2ターム（1Sセメスター）、1A1・1A2ターム（1Aセメスター）にクラス指定で開講されています。

各科目をどのターム・セメスターに行うかはグループによって異なります。現状では、所属クラスによって下記のグループの割り振りを行う運用をとっています。

前期課程の英語に関しては、各科目を通じて、読解、ライティング、リーディング、リスニング、スピーキングといった全体として高度の英語力の養成を目標としたカリキュラムが設計されています。

全科類	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
1	英語一列① (総合科目L系列)	英語二列S	(総合科目L系列)	英語一列② 英語二列W
2	英語一列① 英語二列W	(総合科目L系列)	英語二列S (総合科目L系列)	英語一列② (総合科目L系列)
3	英語二列S (総合科目L系列)	英語一列①	英語一列② 英語二列W	(総合科目L系列)
4	(総合科目L系列) 英語二列W	英語一列①	英語一列② (総合科目L系列)	英語二列S

このカリキュラムを実施するにあたっては、各科目の履修人数を適正な範囲とすることが必要です。そのため、上記のグループ分けを行うことにより、限りのある教員等の人的リソース、教室・設備等の物的リソースの均衡化を保っています。履修順を選択制とした場合、希望の偏りによって適切な履修人数の編成に影響が及ぶ可能性が十分に想定できます。希望の偏りに応えることで授業の運営、ひいてはカリキュラム実施そのものに支障を来すこととなれば、却って学生にとって重大な不利益に繋がると考えます。

部分的に選択制を導入した案として、「入学前に1～4グループについて希望をとり、その希望をある程度反映させる形で所属クラスを決定する」という方法が考えられますが、科類クラスは「英語と日本語以外の選択外国語」で分けられており、英語基礎科目の履修順によってさらにクラスを細分化することは現実的ではありません。

以上の点から、「ALESS/ALESA、FLOW、英語一列及び英語中級を履修する学年、セメスター及びタームを学生が選択できるようにする」ことは基礎科目については難しいというのが実情です。なお、英語中級は現在でも二年次を含めて履修セメスターを選択できます。

### 本交渉項目5に付随し、後日文書回答となった質問

1. 屋外トイレについて、学生への周知が無いまま解体が始まってしまったが、工程はどうなっているのか。
2. 学生自治会は普段、学生支援課を通じてキャンパス内の工事計画等を聞いているが、屋外トイレの改築についての周知は無かった。屋外トイレの改築の情報は、学生支援課へいつ伝わったのか。

### 回答

1. 7号館前の屋外トイレについてですが、解体の工程は2018年12月3日に教養学部のウェブサイトでお知らせいたしました。また、新しいトイレの建設の工程は学部交渉本交渉後の2019年3月6日に教養学部のウェブサイトでお知らせしております。屋外トイレはすでに完成しておりますが、供用開始までもう少し時間がかかる見込みです。使用開始時期は、わかり次第お知らせいたします。
2. 学生支援課がトイレの改築の情報を知ったのは、2018年12月3日です。経理課より学生全体へ向けて、UTASおよび教養学部ウェブサイト上でお知らせした同日であったので、学生自治会に対しては特に周知はしませんでした。解体の連絡を事前に学生自治会にお知らせできなかつたのは、解体後におこなう埋蔵文化財調査が当初の予定よりも前倒しになつた関係で、急遽解体する必要が生じたからです。解体にともない実際に屋外トイレが使用禁止になったのは、予定通り2018年12月10日からです。ただし、停電のため、12月8日の日中は使用禁止となっていました。